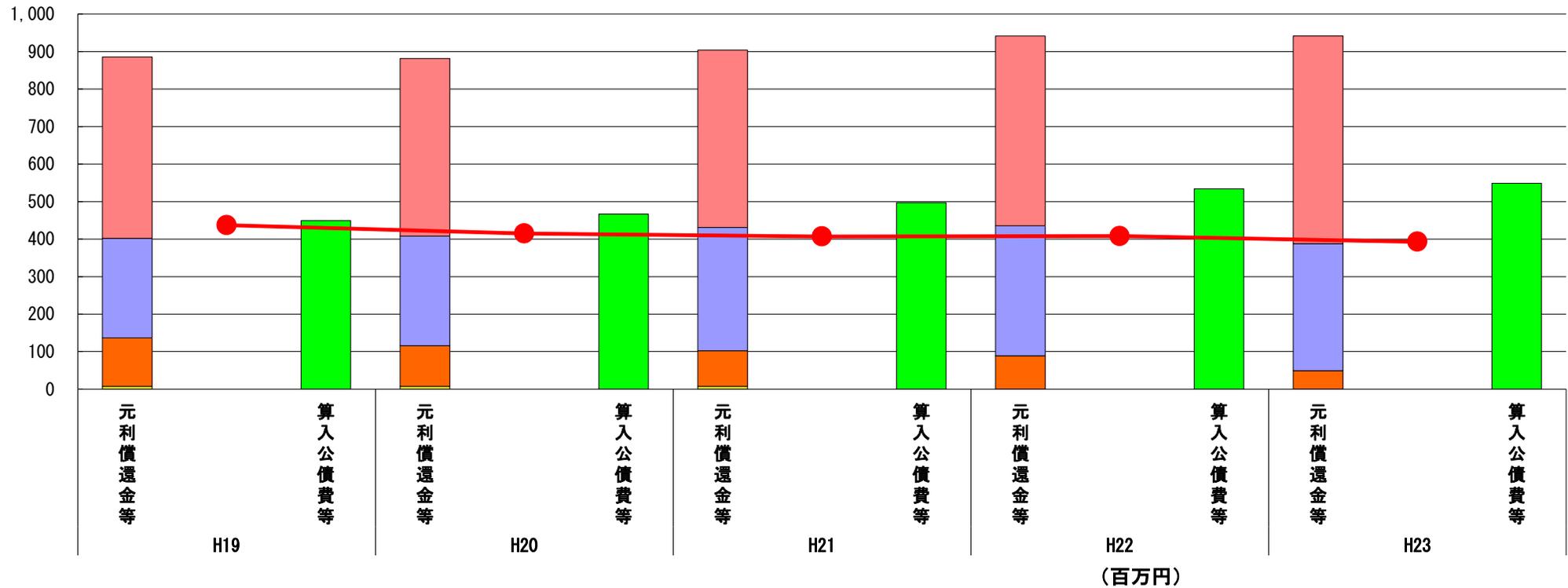


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

山梨県昭和三町

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		484	474	473	506	554
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		265	292	329	347	339
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		130	109	95	89	49
	債務負担行為に基づく支出額		7	7	7	-	-
	一時借入金の利子		0	-	0	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		449	467	497	534	549
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		437	415	407	408	393

**分析欄**

- 元利償還金  
近年、大型主要事業を継続して行っており新規の地方債借入を毎年行っているため元利償還金も増加している。
- 公営企業債の元利償還金に対する繰入金  
下水道事業債の元利償還金が減少したため減少した。
- 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等  
元利償還金が減少してきたため減少傾向にある。
- 実質公債費比率の分子  
元利償還金が増加しているが、算入公債費等も増加しているため低下した。
- 今後の対応  
早期健全化基準未満ではあるが、元利償還金の増加が見込まれるのでさらなる改善を図る。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。